

WILSONWERKS ARCHIVES

This camera manual is for reference and historical purposes, all rights reserved.

This cover page is copyrighted material. This document may not be sold or distributed without the express consent of the publisher.

©2008-2025 wilsonwerks Llc

Nikon

TTL調光コード (SB-11・SB-14用)

TTL Sensor Cord (For SB-11・SB-14)

TTL-Sensorkabel (für SB-11・SB-14)

Câble auto-calculateur TTL (pour SB-11・SB-14)

Sensor TTL con cable (para SB-11・SB-14)

SC-12

使用説明書

INSTRUCTION MANUAL

GEBRAUCHSANWEISUNG

MODE D'EMPLOI

MANUAL DE INSTRUCCIONES

日本語	_____	4 頁
English	_____	Page 14
Deutsch	_____	Seite 22
Français	_____	Page 30
Español	_____	Página 38



各部の名称

Nomenclature

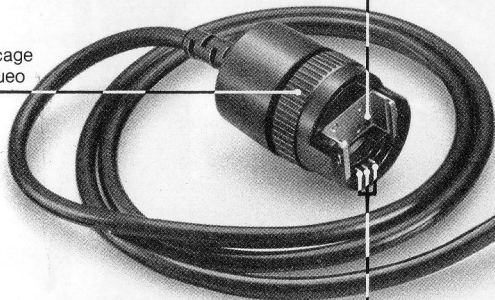
Teilebezeichnungen

Descriptif

Descripción

ロックリング
Locking ring
Klemmring
Bague de blocage
Anillo de bloqueo

接点ピン
Contact pins
Kontaktstifte
Contacts
Patillas de contacto



カメラ取り付けシュー
Mounting foot
Steckschuh
Semelle de fixation
Zapata de montaje

コネクタ
TTL sensor plug
TTL-Sensorstecker
Prise de l'auto-calculateur
Conector del sensor TTL

A-M切換えスイッチ
A-M switch
A/M-Schalter
Commutateur A-M
Conmutador A-M

取りはずし用つまみ
Sensor release catches
Sensor-Entriegelung
Prises de déverrouillage de
l'auto-calculateur
Fiadores de liberación del sensor

目次

各部の名称	3
はじめに	5
スピードライトSB-11・14への取り付け	6
F3シリーズカメラへの取り付け	7
撮 影	8
フラッシュシンクロ	9
TTL自動調光撮影	10～11
TTL自動調光範囲外警告	12
マニュアル撮影	12
レディライトの確認と撮影	13
SB-14使用時のモータードライブとの同調撮影	13
仕 様	46

はじめに

TTL調光コードSC-12をスピードライトSB-11、またはSB-14に取り付けて、ニコンF3シリーズカメラと組み合わせて使用すれば、TTL自動調光スピードライト撮影ができます。もちろん、マニュアル撮影にも切換えられます。さらに、ニコンF3シリーズカメラのレディライト機能もそのまま使用できますから、カメラのファインダーでスピードライトの充電完了、TTL自動調光範囲外警告、取り付け不完全警告を確認することができます。

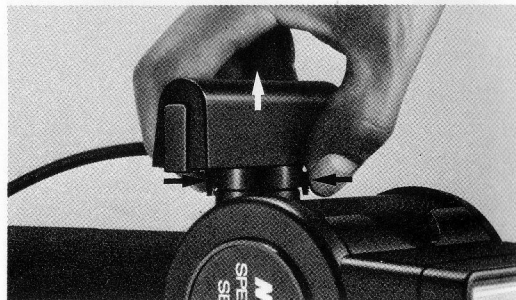
スピードライトSB-11・SB-14への取り付け

スピードライト本体より、センサーユニットSU-2を取りはずします。次にTTL調光コードSC-12のTTLセンサー部のコネクターピン外周枠の切り欠きとスピードライトのセンサーコンセントの出張り部を合わせて、スピードライトに押し込みます(写真1)。

取りはずしは、SC-12後部の2つのつまみを押しながら抜き取ります(写真2)。



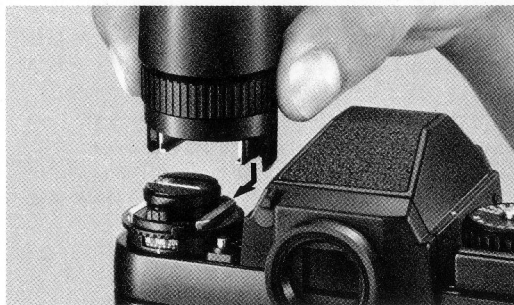
(写真1)



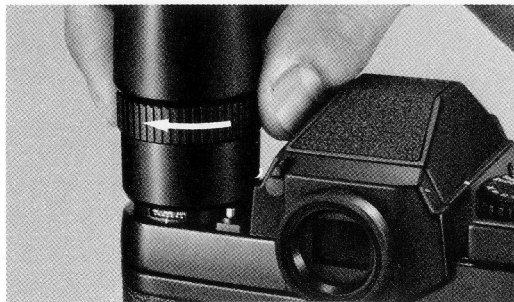
(写真2)

F3シリーズカメラへの取り付け

TTL調光コードSC-12のカメラ取り付けシューをF3シリーズカメラのアクセサリシューへ前方から差し込み(写真3)、ロックリングを回して固定します(写真4)。取り付けが不完全なとき、あるいは、ASA/ISO連動範囲外の際には、スピードライト、およびカメラのファインダー内レディライトが点滅して警告します。



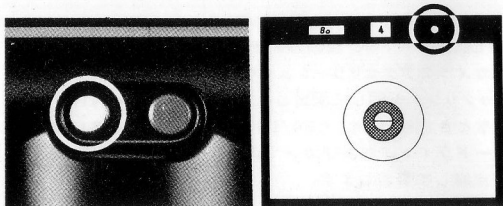
(写真3)



(写真4)

撮 影

TTL調光コードをF3シリーズカメラ、スピードライトにセット後、電源スイッチを入れると、シャッターダイヤルがA(オート)、マニュアル1/2000~1/125秒にセットされていても、同調シャッタースピード1/80秒にセットされます。1/60秒以下のスローシャッターは、そのまま作動します。スピードライトの充電完了と同時にカメラのレディライトおよびスピードライト自体のレディライトが点灯して、撮影準備完了を知らせます(写真5)。



(写真5)点灯

フラッシュシンクロ

●シャッタースピードダイヤルをA(オート)にセットした場合
スピードライトとF3シリーズカメラをセットし、スピード
ライトの電源スイッチをONにすると同時に同調シャッター
スピード1/80秒に切換わります。スピードライトの充電が完
了すると、カメラのファインダー内レディライトおよびスピー
ードライト自体のレディライトが点灯し撮影が可能となりま
す。このときカメラのファインダー内露出表示は、80を表
示しています。スピードライトの電源スイッチをOFFにする
と同時に、通常のオート露出撮影となります。

●シャッタースピードダイヤルをA(オート)以外にセットし
た場合

a) X(1/80秒)にセットした場合

スピードライトの電源スイッチをONにしスピードライトの
充電が完了すると同時に、カメラおよびスピードライトの
レディライトが点灯します。レディライトの点灯を確認し
てカメラのシャッターボタンを押せば、1/80秒の同調シャ
ッタースピードで作動します。カメラのファインダー
内露出表示は、スピードライトの電源スイッチがOFFのど
きはM+80、ONにすると同時にM80に変わります。

b) 125(1/125秒)～2000(1/2000秒)にセットした場合

スピードライトの電源スイッチをONにすると同時に同調
シャッタースピード1/80秒に切換わり、スピードライトの
充電が完了するとカメラのファインダー内およびスピー

ードライトのレディライトが点灯します。

レディライトの点灯を確認してカメラのシャッターボタン
を押すと、1/80秒のシャッタースピードで作動します。
スピードライトの電源スイッチをONにすると同時に、カ
メラのファインダー内露出表示はM80となります。

c) 8(8秒)～60(1/60秒)にセットした場合

スピードライトの電源スイッチをONにし、スピードライ
トの充電が完了すると同時にカメラのファインダー内お
よびスピードライトのレディライトが点灯します。レディ
ライトの点灯を確認してカメラのシャッターボタンを押す
と、設定したシャッタースピードで作動します。
カメラのファインダー内露出表示は、設定シャッタース
ピードが表示されます。

d) B(バルブ)、T(タイム)にセットした場合

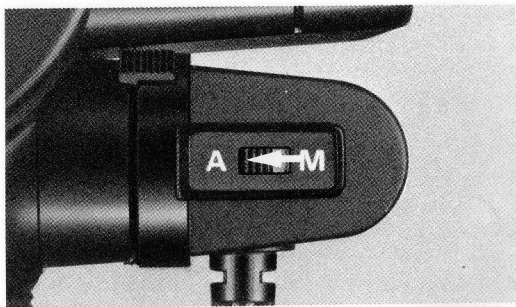
スピードライトの電源スイッチをONにし、スピードライ
トの充電が完了すると同時にカメラのファインダー内お
よびスピードライトのレディライトが点灯します。レディ
ライトの点灯を確認してカメラのシャッターボタンを押せ
ば、BおよびTのシャッタースピードで作動します。
カメラのファインダー内露出表示は、通常のB、T撮影と
同様です。

TTL自動調光撮影

スピードライト本体に取り付けたSC-12のTTLセンサー部側面のA-M切換えスイッチをAにセットします(写真6)。使用フィルム感度(ASA/ISO)、撮影距離等を考慮し、表より使用可能な絞り値を読み、適当な絞りを選択します。この場合、TTL自動調光撮影可能な最短撮影距離(表参照)よりもカメラを近づけて撮影を行うときには、スピードライトとカメラを離し、スピードライトは被写体から最短撮影距離よりも遠くなるようにセットし、レンズの絞りをなるべく絞って使うなどの工夫をしてください。この場合、被写体に十分に光が当たるようにスピードライトの発光部の位置を選択してください。

TTL自動調光撮影におけるフィルム感度(ASA/ISO)セット範囲、使用絞り範囲、調光可能範囲は右ページの表の通りです。

※一般に電池の電圧は使用中に徐々に低下するため、スピードライトのガイドナンバーも若干低下します。また、スピードライトの発光量は距離が同じでも被写体の反射率や周囲の状況により異なります。これらの原因により、調光範囲内でも最遠距離付近では調光範囲外警告(レディライトが点滅)がでることがあります。また、15m以遠の主要被写体を撮影する場合で、主要被写体の手前に大きな割合で別の被写体があるような場合は、主要被写体がアンダーになることがあります。このような場合はできれば望遠レンズなどを使用して主要被写体のみが画面を大きく占めるような撮影方法を取ることをおすすめします。



(写真6)

フィルム感度(ASA/ISO)					調光可能範囲			
					SB-11使用時		SB-14使用時	
400	200	100	50	25	通常時	ワイドアダプター SW-3 使用時	通常時	ワイドアダプター SW-5 使用時
2	—	—	—	—	5.6~36m	5.6~25m	5.6~32m	5.6~22m
2.8	2	—	—	—	4~25m	4~18m	4~22m	4~16m
4	2.8	2	—	—	2.8~18m	2.8~12.8m	2.8~16m	2.8~11m
5.6	4	2.8	2	—	2~12.8m	2~9m	2~11m	2~8m
8	5.6	4	2.8	2	1.4~9m	1.4~6.4m	1.4~8m	1.4~5.6m
11	8	5.6	4	2.8	1~6.4m	1~4.5m	1~5.6m	1~4m
16	11	8	5.6	4	1~4.5m	1~3.2m	1~4m	1~2.8m
22	16	11	8	5.6	1~3.2m	1~2.2m	0.7~2.8m	0.7~2m
—	22	16	11	8	1~2.2m	1~1.6m	0.6~2m	0.6~1.4m
—	—	22	16	11	1~1.6m	1~1.1m	0.6~1.4m	0.6~1m

●SB-11、SB-14を近距離で使用する場合は、ワイドアダプターの併用をおすすめします。

TTL自動調光範囲外警告

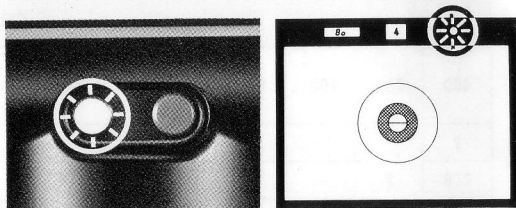
TTL自動調光撮影において、選択した絞りに対してスピードライトが全光量を発光しても、TTL自動調光作動が行われなかった場合にはカメラのファインダー内およびスピードライトのレディライトが約2秒間点滅して警告します(写真7)。この場合、光量が不足していることがありますので、次の撮影に際しては露出計算ダイヤルで使用可能な絞りと距離の関係を確認してください。

また、SC-12のF3シリーズカメラへの取り付けが不完全な(SC-12脚部のロックリングが完全にしまっていない)場合や、フィルム感度(ASA/ISO)の連動範囲が高感度側(ASA/ISO 400・露出補正目盛0位置のとき)を越えている場合は、カメラおよびスピードライトのレディライトが点滅を繰り返し警告します(写真7)。

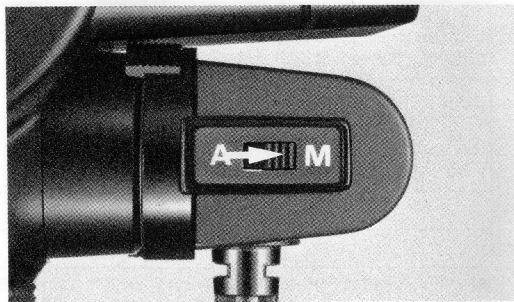
マニュアル撮影

スピードライトとTTL調光コードSC-12を接続してもマニュアル撮影はできます。マニュアル撮影をする場合は、SC-12側面のA-M切換えスイッチをM側にセットします(写真8)。このとき、スピードライトはフル発光し、ガイドナンバーはSB-11で36、SB-14で32(いずれもASA/ISO 100の場合)を示します。一般に、GN(ガイドナンバー)＝撮影距離(m)×レンズの絞りという関係がありますから、撮影距離が判っていれば適正絞り値を算出することができます。また、ス

ピードライトの露出計算ダイヤルによっても、およその撮影距離と絞りの関係を読みとることができます。



(写真7) 点滅

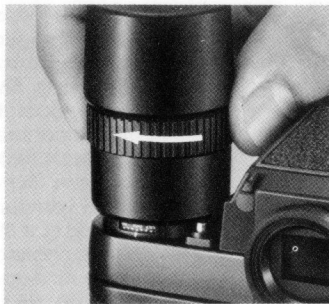


(写真8)

Anschließen des Kabels



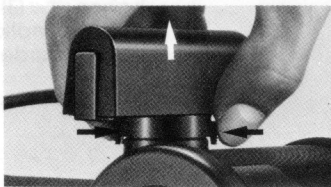
1. Drehen Sie zunächst den Klemmring nach links, so daß der Steckschuh frei wird. Schieben Sie den Schuh dann von vorn auf den Zubehörschuh der Kamera.



2. Drehen Sie den Klemmring bis an seinen rechten Anschlag.

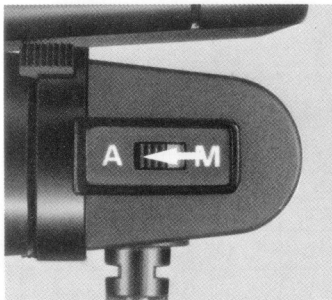


3. Schieben Sie den Stecker des TTL-Sensorkabels SC-12 mit dem Namenszug Nikon nach oben in die Sensorbuchse des Blitzgeräts, so daß er einrastet.



* Zum Abnehmen des Steckers des Sensorkabels SC-12 drücken Sie erst die beiden Entriegelungsknöpfe, und ziehen sie den Stecker dann ab.

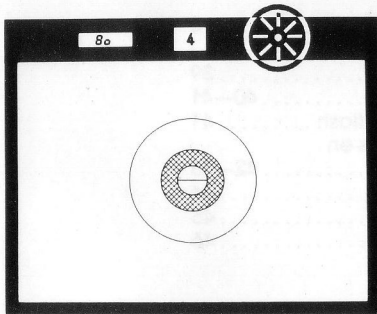
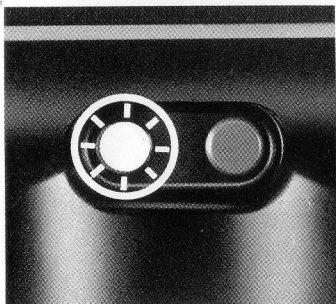
Automatische Blitzsynchronisation



Nach dem Anschluß des TTL-Sensorkabels SC-12 sowohl an die Kamera als auch an das Blitzgerät können Sie das letztere einschalten. Damit wird die Synchronzeit 1/80s automatisch in die Kamera eingesteuert, selbst wenn deren Verschußzeitenknopf auf "A" oder einer Zeit zwischen 1/125s und 1/2000s steht. Eingestellte Verschußzeiten von 1/60s oder länger werden von der Kamera eingehalten.

4. Schieben Sie den A/M-Schalter auf "A". Zur Abschaltung der Automatik schieben Sie den Schalter auf "M". Weitere Einzelheiten finden Sie in der Bedienungsanleitung des Blitzgerätes.

Témoin lumineux



Les témoins de recyclage du flash et du viseur de l'appareil clignotent pour avertir de l'un des cas suivants:

- (1) Le SC-12 est mal fixé à la griffe de l'appareil (clignotement continu).
- (2) Le flash a délivré sa puissance maximale, et il est possible que la lumière émise n'ait pas suffi à une exposition correcte (clignotement de 2 secondes).
- (3) La sensibilité affichée sur l'appareil excède 400 ASA/ISO (clignotement continu).

Indice

Descripción	3
(en el desplegable de la cubierta)	
Presentación	39
Montaje.....	40—41
Sincronización automática del flash	41
Tabla de intervalo de distancias en exposición automática TTL	42—43
Exposición manual.....	44
Luz de carga	45
Especificaciones	46

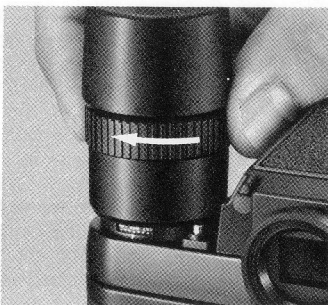
Presentación

El sensor TTL (a través del objetivo) con cable SC-12 amplía las posibilidades y facilita el manejo de los conjuntos de flash electrónicos SB-11 o SB-14 y las cámaras Nikon F3 ó F3 High-Eyepoint, ya que permite la exposición con flash medida a través del objetivo (TTL) y completamente automática -o manual- con una distancia de hasta 1m entre aquél y la cámara. En cuanto el flash está recargado, se enciende el correspondiente piloto en el visor de la cámara, gracias a lo cual es posible fotografiar sin separar en ningún momento la vista del ocular. El piloto parpadea si: (1) el sensor TTL no está correctamente conectado a la zapata de accesorios de la cámara; (2) el flash destella a su máxima potencia, para señalar que quizá la exposición ha sido insuficiente y (3) el anillo de sensibilidades ASA/ISO señala más de 400.

Montaje



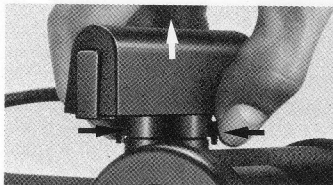
1. Gire el anillo de bloqueo a en el sentido contrario de las agujas del reloj para descubrir la zapata de montaje y deslice ésta en la de accesorios de la cámara por su parte anterior.



2. Gire el anillo de bloqueo en el sentido de las agujas del reloj hasta llegar al tope.



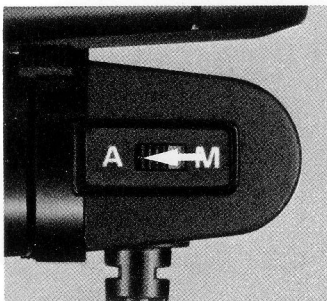
3. Enchufe el conector del sensor TTL en el enchufe hembra correspondiente del flash de forma que la marca Nikon quede boca arriba.



*Para desconectar el sensor TTL del enchufe hembra del flash, apriete primero los dos fiadores de liberación y tire luego hacia afuera.

Sincronización automática del flash

En cuanto se conecta el sensor TTL con cable SC-12 a la cámara y al flash electrónico y se enciende éste, el obturador queda automáticamente fijado a la velocidad de sincronización correcta de 1/80s, independientemente de que el anillo de velocidades esté en "A" o en cualquier valor entre 1/125s y 1/2000s. Pueden, sin embargo, utilizarse todas las velocidades inferiores, a partir de 1/60s.



- 4.** Ponga el selector A-M en "A". Respecto al funcionamiento manual ("M"), consulte el manual de instrucciones del flash.

Tabla de intervalo de distancias en exposición automática TTL

A continuación se describe la relación entre sensibilidad ASA/ISO de la película, diafragma f e intervalo de distancias en exposición automática TTL.

Unidad: m

	Sensibilidad ASA/ISO					Intervalo de distancias			
						Con SB-11		Con SB-14	
	400	200	100	50	25	Normal	Con adaptador gran angular SW-3	Normal	Con adaptador gran angular SW-5
diafragma f	2	—	—	—	—	5,6~36	5,6~25,0	5,6~32,0	5,6~22,0
	2.8	2	—	—	—	4,0~25,0	4,0~18,0	4,0~22,0	4,0~16,0
	4	2.8	2	—	—	2,8~18,0	2,8~12,8	2,8~16,0	2,8~11,0
	5.6	4	2.8	2	—	2,0~12,8	2,0~9,0	2,0~11,0	2,0~8,0
	8	5.6	4	2.8	2	1,4~9,0	1,4~6,4	1,4~8,0	1,4~5,6
	11	8	5.6	4	2.8	1,0~6,4	1,0~4,5	1,0~5,6	1,0~4,0
	16	11	8	5.6	4	1,0~4,5	1,0~3,2	1,0~4,0	1,0~2,8
	22	16	11	8	5.6	1,0~3,2	1,0~2,2	0,7~2,8	0,7~2,0
	—	22	16	11	8	1,0~2,2	1,0~1,6	0,6~2,0	0,6~1,4
	—	—	22	16	11	1,0~1,6	1,0~1,1	0,6~1,4	0,6~1,0

Nota: Si el sujeto se encuentra a poca distancia, se recomienda utilizar el adaptador gran angular.

Tal como indica la tabla de la página anterior, es posible elegir hasta 8 diafragmas, cada uno de los cuales determina el correspondiente intervalo de distancias sobre el que la exposición automática será correcta a una sensibilidad ASA/ISO dada.

A igualdad de distancia del motivo, cuanto mayor sea la abertura escogida, más breve será el intervalo de recarga del flash y el alcance máximo de la luz, aunque a costa de una profundidad de campo menor. Inversamente: si la abertura se reduce, la profundidad de campo aumenta, pero el tiempo de recarga crece y el alcance máximo disminuye. Los siguientes ejemplos ayudarán a utilizar la tabla de distancias.

Ejemplo 1

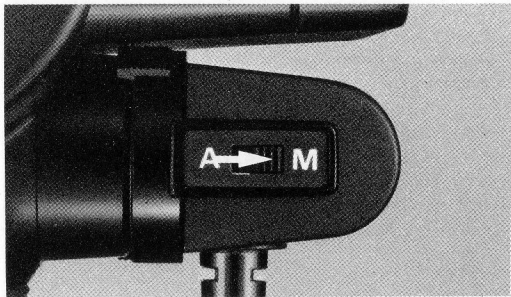
Si utiliza el SB-11 con 100 ASA/ISO, podrá fotografiar motivos situados entre 1 y 18m a los valores de diafragma indicados en la tabla. Con el SB-14 y 100 ASA/ISO, el intervalo de distancias en exposición automática varía entre 0,6 y 16m.

Ejemplo 2

Si utiliza el SB-11 con 100 ASA/ISO y el motivo está situado a tres metros de distancia, podrá fotografiar en cualquier abertura entre $f/2$ y $f/11$. Con el SB-14, los números f utilizables varían entre $f/2$ y $f/8$. Si se desea mayor profundidad de campo, utilice $f/11$ con el SB-11 ó $f/8$ con el SB-14. Una solución intermedia sería $f/5,6$.

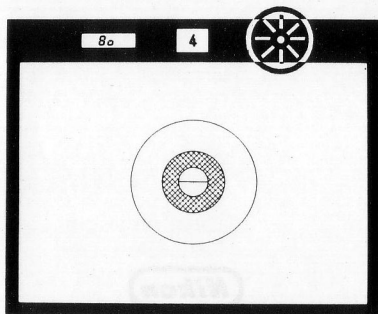
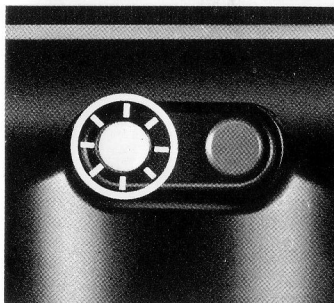
Una vez decidido el valor de la abertura, fíjelo en el objetivo y esponga: la película quedará correctamente expuesta.

Exposición manual



La combinación flash/SC-12 permite la operación automática con el flash separado de la cámara, pero también la exposición manual; para esto no hay más que poner el selector A-M en "M".

Luz de carga



Los pilotos de carga tanto del flash como en el interior del visor de la cámara destellarán a modo de advertencia en las siguientes situaciones:

- (1) Si el SC-12 no está bien conectado a la zapata de accesorios de la cámara (destellos continuos).
- (2) Si el flash ha disparado a su máxima potencia, para indicar que la exposición pudo haber sido insuficiente (destellos durante 2s).
- (3) Si el anillo de sensibilidades ASA/ISO indica un valor superior a 400 (destellos continuos).

仕様

長さ：約1m
重さ：約170g

Specifications

Length: Approx. 1m
Weight: Approx. 170g

Technische Daten

Länge: Ca. 1m
Gewicht: Ca. 170g

Caractéristiques

Longueur: Environ 1m
Poids: Environ 170g

Especificaciones

Largo: Aprox. 1m
Peso: Aprox. 170g



NIPPON KOGAKU K.K.

No reproduction in any form of this booklet,
in whole or in part (except for brief quotations in
critical articles or reviews), may be made without
written authorization from the publishers.

Printed in Japan (82.4.E)&-1